

【赤松コミュニティ・スクール通信】第6号

担当： 主幹教諭 古賀 裕美

城南中学校出前あいさつ運動 9月9日（火）・11日（木）城南豊夢学園 まなざしプロジェクト

城南中学校3年生の生徒会の皆さん12名が、9月9日（火）と11日（木）、本校の北門と南門に立ってくれて、あいさつ運動を行いました。朝から気温もあがり、かなり蒸し暑かったです。中学生も小学生も互いに元気なあいさつを交わしていました。子どもたちの明るい声が響く、気持ちのよい朝となりました。



夕学支援 9月17日（水）・18日（木） はすのみコミュニティ・佐賀大学1年生



9月17日（水）と18日（木）の2日間、放課後学習支援として「夕学」を今年度も実施しました。はすのみコミュニティの方と、実習に来ていた佐賀大学1年生14名に夕学の支援にあたっていただきました。放課後30分ずつではありましたが、参加した子どもたちも集中して宿題に取り組みました。分からぬ問題があれば、すぐに聞くことができました。夕学に参加した子どもたちからは、「教えてもらえてうれしかった。」「学校で宿題ができたのがよかったです。」「次も参加したい。」などの声が聞かれました。

第3回学校運営協議会 9月24日（水） 18:30～

12名の学校運営協議会委員の皆様にご出席いただき、行事や学校課題についてご協議いただきました。その中で、公民館のフリースペースでの子どもたちの過ごし方について、「子どもたちがWi-Fiを利用して長時間ゲームをして過ごしている様子が見られる」とのご意見があり、少しだけ心配される声が寄せられました。これを受け、公民館の方からは「利用を禁止するのではなく、子どもたちが安心して過ごせる“居場所づくり”を進めていきたい」という前向きなご提案をいただきました。学校としても、地域の皆様と協力しながら、子どもたちが安心して過ごせる場を整えていくことが大切であると考えております。そこで、子どもたち自身が話し合いを行い、公民館のフリースペースでの過ごし方について、次の2つのルールを決めました。【①ゲームの時間は1時間30分までとすること。②充電は家ですること。】自分たちで話し合って決めたルールです。これからも自分たちでしっかりと守り、みんなが気持ちよく利用できるようにしてほしいと思います。なお、これらのルールは公民館にも掲示しています。保護者の皆様におかれましても、ご家庭におけるスマートフォンやゲーム機の利用、また公共の場での過ごし方について、改めてお子様と話し合う機会をもっていただけますと幸いです。



赤松校区少年の主張大会 10月18日（土） 9:30～

赤松公民館で「第38回赤松校区少年の主張大会」が開催されました。赤松小児童4名、城南中生徒5名、附属中生徒3名、が発表をしました。身近なことから課題や疑問を見つけ、それについて調べたり考えたりしたことを文章にまとめ、自分の言葉で堂々と力強く発表しました。「青少年健全育成に関する標語」の入選作品もこの大会で紹介いただきました。



水鏡プロジェクト「おほり灯ろうまつり」赤松まちづくり協議会主催 10月18日（土）



10月18日（土）、まちづくり協議会主催の「水鏡プロジェクト おほり灯ろうまつり」が開催され、今年で10周年を迎えました。秋の澄んだ空気の中、水面に映る灯ろうの光が幻想的な風景を作り出しました。本校の児童もボランティアとして参加し、約1200個の灯ろうを組み立て、丁寧に並べる作業を手伝いました。灯ろうの絵付けは5年生が担当し、昨年度の6年生の作品も展示されました。また、「灯りのプログラミング教室」も3回実施され、子どもたちの創造力と技術が光りました。夕方にはキャンドルに火がともされ、灯ろうの光が一層輝きを増し、来場者は静かな感動に包まれました。メインステージのコンサートも秋の夜を彩り、地域と子どもたちが心を通わせる素晴らしい体験となりました。